
一つの影

ふわふわわたあめ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

一つの影

【Nコード】

N1111M

【作者名】

ふわふわたあめ

【あらすじ】

人見知りが激しく、あることが大の苦手な”柚”。ある日柚の人生を一変させる出来事がおきた。それは”裕也”との出会いからだった。

プロローグ

恋愛。

自分の全てを受け入れてくれる。
全てを愛してくれる。
自分だけを見てくれる。

恋愛には人それぞれだけれど、恋愛って結局なんなんだろうって思った。

そんなあたしの考えだけど…恋愛って友情と同じようなものだと思う。

ただ普通に話してるだけ。

キスだって頑張れば友達とだってできる。
普通はやらないって皆言うだろうけど、そう思うことからただこの
世界がキスを特別にしてるだけだとわかる。

経験なんてしたことない。
ただ恋人を見てるだけでなんとなくわかってる気がしてた。

なんで恋人なんてつくるんだろうって。
つまらないもので、すぐ終わってしまう。

お互いが傷ついていくなんて馬鹿馬鹿しい。

興味が無かったと言えば嘘になる。
恋をしている人を見ると、ちょっとだけ羨ましいと思った時期もあ
った。

でも自分は一生、恋愛なんてしないんだろうって。
… なんとなく恋に冷めてたんだ。

……でも、そのときは気づいてなかったんだ。
恋がこんなにあたしを幸せにしてくれるなんて。

馬鹿にしたのが馬鹿みたいに思い知らされることになる。

でも、それは馬鹿みたいに突っ走ったあたしの精一杯の恋だったんだ。

今、一つの影が恋に動かされた。

第1話

今日は入学式

中学の頃とは違い可愛い制服に身をつつみ
なみきゆず
並木柚の気分はウキウキ…のはずだったのに……

「あー…入学早々遅刻かー…。」

登校時間まであと7分

信号の馬鹿やろー！！！！
と叫びたくなる気持ちを抑えつつも苛立ちを隠せない

ああ…あと5分だ…

入学早々遅刻決定……

うん 悲しすぎる

なんでここの信号は青になるまでが長いのおお！？

うん 虚しすぎる

はあ…

心の中で独り言を繰り返していたとき

「入学早々遅刻疑惑とかアホか。俺の自転車に乗せてやる。」

それがあいつとあたしの出逢いだった

ただ

「……………」

人見知りなあたし
そしてそんなあたしは

男と話すことが大の苦手

「…おい、聞いてんのか？送る。」

「あ…いや……」

その男は呆れた顔をして私の両脇を掴んだ

「話しになんねエ。…ッほらよつと！…後2分か、余裕だな。」

ひいひいひい！！！！！！

触られたあああ！！

掴まれたあああ！！！！

これから私どうなるんだろ

これって誘拐だよね？ねえ？

お母さん、今までありがとう

柚はお母さんの先に逝かなければならないみたいです

「お前1年だろ？俺は2年だから先輩だな。」

パニック状態をおこした私には男の声なんか全く聞こえてなかった

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1111m/>

一つの影

2010年10月17日06時58分発行